

みんなが回収、みんなのごみ

～学校のごみ調べ～

1 ねらい

- (1) 実際にごみを集めることから、ごみを捨てることを見直すきっかけを作りたい。
- (2) 身近な学校のごみを調べることで、ごみの量や種類を考えるきっかけを作りたい。

2 関連学年・教科

4年・社会、全学年・総合(環境)・道徳

3 用意するもの

学校内で出されたごみ/軍手/シート(ブルーシートなど)/ハカリ

4 進め方

問いかけ

学校ではどんなごみが出るのかな? /学校ではどれだけの量のごみが出るのかな?

本題

集めて、分けて、量ってみる。

- (1) 学校で出たごみを集めてくる。
- (2) 集めたごみをどのように分けるか話し合う。
きれい・きたない、もえる・もえない など、話しあって分け方を決めてみる。
- (3) ごみを分別し、重さを量ってみる。

気をつけよう

ごみを扱うアクティビティなので、けがをしないように、また衛生面でも注意が必要。

気づき

- (1) 分別し、重さを量って、何がわかったかな?
- (2) 量を減らせるごみはどれかな? どうやったら減らせるかな?
- (3) 減らすことのできないごみはどれかな? どうして減らすことができないのかな?

発展

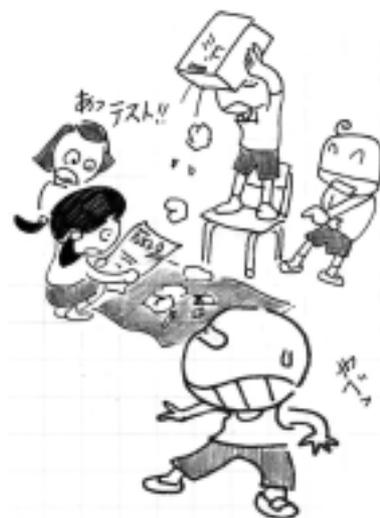
クラスやグループでごみの減量行動計画を作り、実践してみる。

メモ

ごみを減らすための四つの行動理念

英語の頭文字Rをとって4R(よんアール)といいます。

- (1) はじめに、**断る(リフューズ)** 生活のむだをなくす。
- (2) つぎに、**減らす(リデュース)** 必要な物だけを買う。
- (3) そして、**再利用する(リユース)**
なんども使える容器を使用。
- (4) さいごに、**再資源化する(リサイクル)**
リサイクル製品の活用。



みんなが回収、みんなのごみ ワークシート

月 日	メンバー名
	なまえ

集めたごみの重さを量ろう

	kg
--	----

集めたごみを分けてみよう

	ごみを分けた理由	重さ		ごみを分けた理由	重さ
1		kg	4		kg
2		kg	5		kg
3		kg	6		kg

どのごみが減らせるかな？どのごみが減らせないかな？

減らせるごみ		重さ	減らせないごみ		重さ
1		kg	1		kg
2		kg	2		kg
3		kg	3		kg
4		kg	4		kg

減らせる理由、減らせない理由を書いてみよう



いくつに分ける？

～ごみの分別体験～

1 ねらい

- (1) 「ごみは、分ければ資源」と言われるが、ごみの分別について考えるきっかけを作り、「ごみを分ける」ことを気づかせたい。
- (2) ごみを分けるのは、「他の誰でもない、自分だ」ということに気づかせたい。

2 関連学年・教科

4年・社会、6年・家庭科、全学年・総合(環境)

3 用意するもの

- (1) 各種ごみ：缶類(アルミ缶、スチール缶、スプレー缶)/びん類(透明びん、茶色びん、その他の色(緑、青、黒など)のびん、リターナブルびん)/古紙類(紙パック、段ボール、新聞、折り込みチラシ、雑誌、コピー用紙、割り箸)/トレー類(白、その他の色)/生ごみ/ペットボトル/ペットボトルのフタ/金属製キャップ/ライター/プラスチック製容器/紙おむつ/ガラス類/陶器類/乾電池/古布/靴など
- (2) 軍手/付せん紙

4 進め方

問いかけ

家からのごみは、どのように出しているのかな？/どのようにしてごみを処理しているのかな？
「ごみを分けて出している」ことを知っているかな？
ごみはいくつに分別していると思うかな？

本題

基準を作ってごみを分けよう

- (1) 数人ずつのグループに分け、それぞれごみの分別する数を決める。
2分別、5分別など
- (2) 各グループで決められた分別数にごみを分けるため、その理由と基準を話し合う。
- (3) 基準に沿って、ごみを分別する。
- (4) 分別し終わったら、グループごとに、分別したごみと分別基準を紹介する。

気づき

- (1) 分別する数によって、ごみは分けやすかったかな？分けにくかったかな？
- (2) 分別したごみは、どう処理されるのか調べてみる。

発展

各市町村で、分別したごみがどのように再利用されるのか調べてみる。

いくつに分ける？ ワークシート

月 日	メンバー名
	なまえ

さあ、目の前のごみを分けてみよう
ごみを分ける基準を決めてみよう

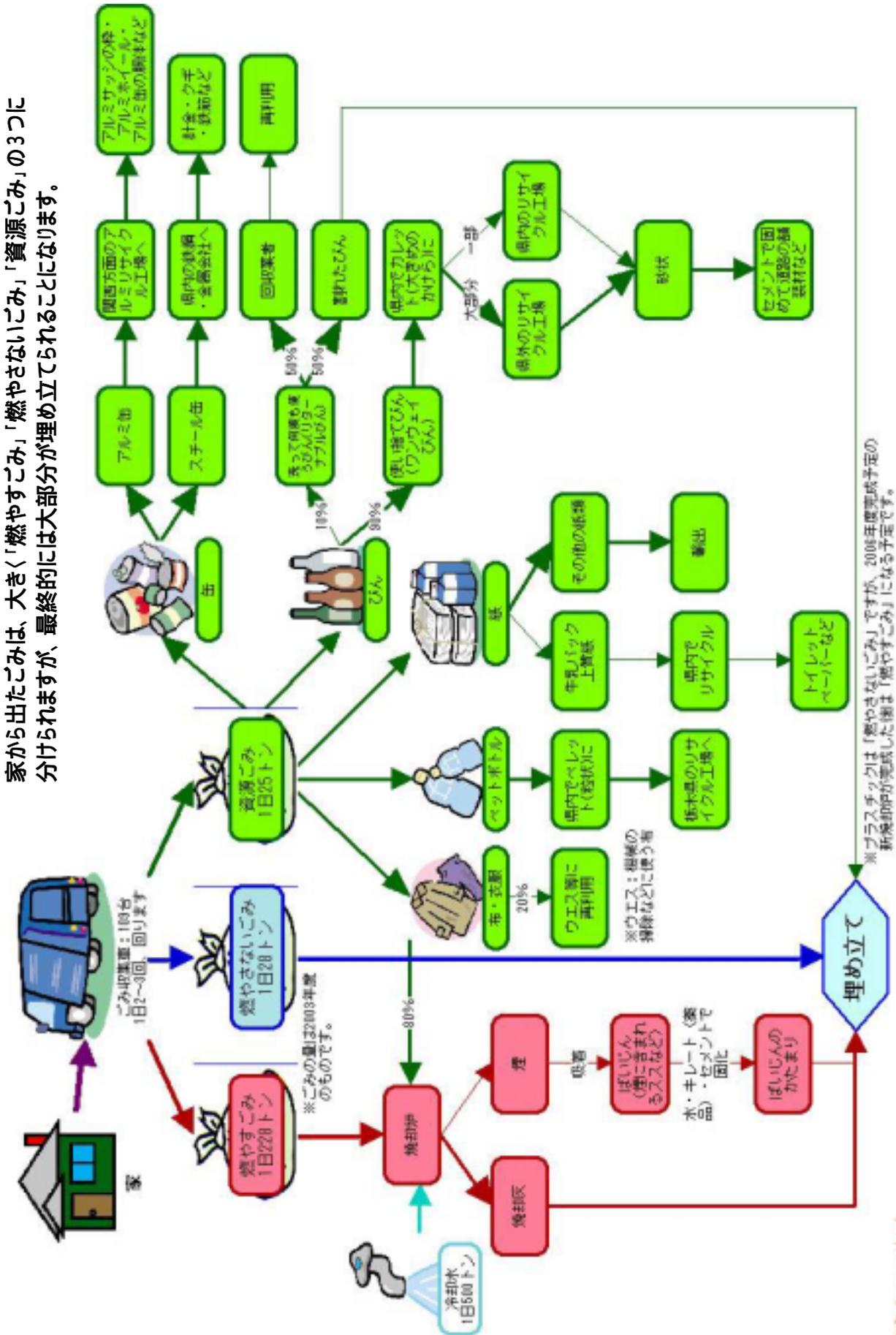
ごみの 分別 分ける基準

ごみを 　　つに分けるとき、何が難しかったかな？
何が簡単だったかな？

難しかったこと

簡単だったこと

情報 那覇市のゴミ処理の流れ



「ごみ」を探索



埋めて、どーなる？埋めて、どーする？

～分解まで考えよう～

1 ねらい

- (1)ごみとして出されるものには、自然に分解されるものと、そうではないものがあることに気づかせたい。
- (2)自然に分解されるものは、自分たちでも処理できることに気づかせたい。
- (3)自然に分解されないものは、自分たちが捨てたあとコストが必要になることに気づかせたい。

2 関連学年・教科

6年・理科、全学年・総合(環境)

3 用意するもの

各種ごみ(生ごみ、トレー、ペットボトル、びん、陶器、古紙など)/スコップ/目印板/アミ袋

4 進め方

問いかけ

ごみは捨てた後どうなるのかな？/ごみは放っておいたらどうなるのかな？

本題

ごみの変化を見よう

- (1)各ごみをそれぞれ同量ずつ三つ用意する。
- (2)これらのごみを、適当な場所に穴を掘って埋める。あとで確認しやすいように大きめの目のアミ袋などに入れて埋めるといい。
この時ごみを埋めた場所に、1, 2のように、それぞれ種類と番号を書いた板をさして、目印しておく。
- (3)適当な期間(一週間)を置き、各ごみをひとつずつ掘り返して変化を確かめる。

気づき

- (1)それぞれのごみの変化(分解)の様子をまとめてみる。
- (2)どうして分解されなかったのかな(分解されたのかな)？
- (3)分解されなかったごみは、どうしたらいいのかな？
- (4)分解するには、何が必要なのかな？ 人？ 時間？ お金？ 設備？
- (5)ごみになるものは、分解されるものが多いかな？ 分解されないものが多いかな？

発展

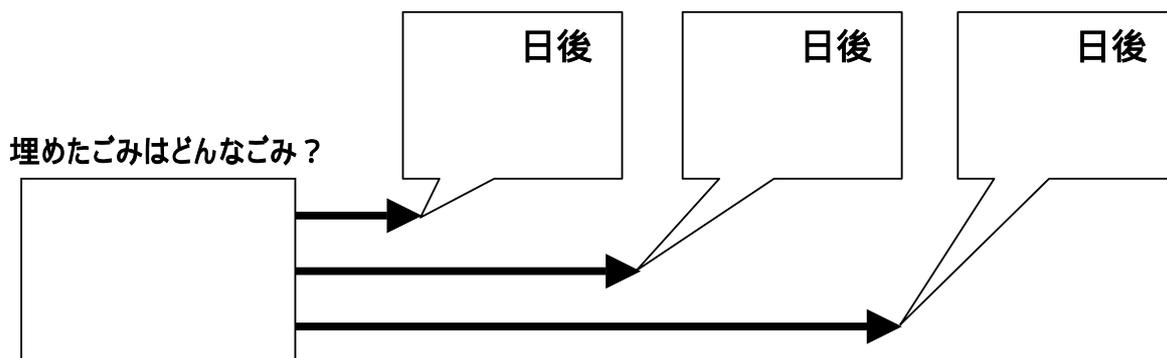
- (1)自然に分解しないものを分解するには、何が必要なのか考えてみる。
人？ 時間？ お金？ 設備？
- (2)生ごみに手を加えることで、分解の仕方を調べてみる。
そのまま ゆでたもの 細かく刻んだもの など



埋めて、どーなる？ 埋めて、どーする？ ワークシート

月 日	メンバー名 なまえ
-----	--------------

埋めたごみがどうなるのか調べてみよう



埋めたごみの変化を記録しよう

埋めたごみの種類	()日後のようす	()日後のようす	()日後のようす

ごみを探検



ポイ捨てごみ探偵団

～ポイ捨てごみマップ作り～

1 ねらい

- (1)自分たちの校区内を調べることから、身近な環境に関心を持たせたい。
- (2)実際に、ごみがどのように捨てられているかを調べることで、何が問題なのかに気づかせたい。

2 関連学年・教科

6年・家庭科、全学年・総合(環境)

3 用意するもの

調査区域の地図/ビニール袋/ちりとりバサミ/軍手/カメラ

4 進め方

問いかけ

いつも、どんなごみが捨てられているのか、見たことあるかな？/どんな場所に、ごみが多く捨てられているかな？

本題

ポイ捨てごみマップを作る

- (1)グループに分かれてそれぞれ調査範囲を決めて、ポイ捨てごみの調査を行う。
調査項目：種類、量、場所
タバコの吸い殻、タバコの空き箱、スナック菓子の袋、紙くず、空き缶、ジュースのパックなど
ポイ捨てごみのあった場所の様子も記録する。
カメラで捨てられている様子や付近の様子を記録する。
- (2)ポイ捨てごみマップの作成。
地図にポイ捨てごみのあった場所、種類、量を書き込んでいく。
写真やサンプル、図や表も使って地図を完成させていく。

気づき

- (1)どんな場所に、どんなポイ捨てごみが多かったのかな？
- (2)ごみが捨てられる物語を考えてみよう。
だれが、どこでものを買って、どんな時に捨てたのかな？
物語を考えることから、ごみのポイ捨てをなくすには、どうしたらいいのか考えてみる。

発展

ごみが一番多かった場所で、ごみを片づけたあと、どうなっていくのか追跡調査を試みる。



ポイ捨てごみ探偵団 ワークシート

月 日	メンバー名 なまえ
-----	--------------

ポイ捨てごみをチェックしよう

調べたときの 時間	調べた場所	ごみの内容	回りのようす



ごみが迷子だ、身元調べ

～海岸での漂着ごみ調べ～

1 ねらい

- (1) 海岸や海洋のごみ汚染に気づかせたい。
- (2) どんなごみが漂着しているのか知ることから、そのごみがどうして生じるのかを気づかせたい。

2 関連学年・教科

全学年・環境(総合)

3 用意するもの

ごみ袋/軍手/ハカリ/カメラ/生産国別バーコード表

4 進め方

問いかけ

海に行って気づいたことはあるかな? / どうして海岸にごみがあるのかな?

本題

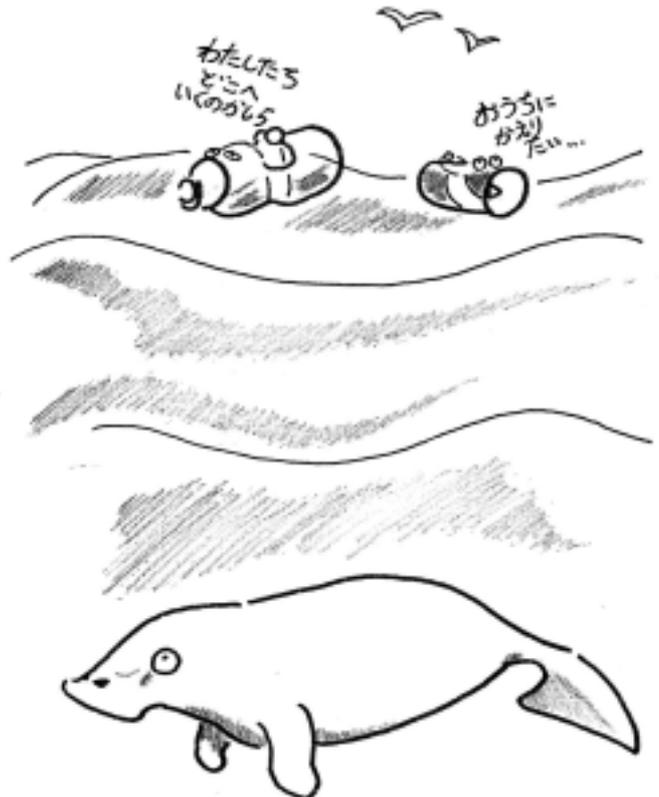
- (1) 海岸で漂着したごみを集めてみる。流れ着いたようすを写真に撮る。
- (2) 集めたごみを分けてみる。
どう分けたらいいかな?
国別バーコード表を使って、どこの国のごみなのか調べてみる。
- (3) 人が捨てたごみはどれかな?
- (4) 調べた結果をまとめてみよう。

気づき

- (1) 分解しないで残ってしまうごみはどれかな?
- (2) なくすことのできるごみはあるかな?

発展

- (1) 季節で違いがあるのか調べてみる。
- (2) 人が捨てたごみの物語を考えてみる。
だれがどこで買ったのかな? 何のために買ったのかな? どこで捨てたのかな?
どうやって海まで来たのかな?
- (3) いろいろな場所のごみマップを作ってみる。
グループやクラス、学年で分担してもいい。



ごみが迷子だ、身元調べ ワークシート

月 日	メンバー名
	なまえ

流れ着いたごみを調べよう
調べた場所：

	種 類	数	そのうち外国製の数
プラスチックとビニール	ペットボトル		
	せんざいボトル		
	キャップ(ふた)		
	たばこフィルター		
	ライター		
	つり糸・漁具など		
	レジ袋・おかし袋		
	弁当容器・破片		
	発泡スチロール		
紙	新聞・雑誌		
	たばこの箱		
	牛乳パックなど		
ガラス	ビン		
	ガラス片		
鉄	カン・金属片		
その他	タイヤ		
	電気製品		
	きけんな物		
	とくしゅな物		
合計			



バーコード表 1999年1月現在のEAN加盟国と国別番号

国際的な統一商品コード。ベルギーに本部のある国際EAN協会が管理している。

EAN(European Article Number)

バーコードの最初の2～3桁が国別の番号

国別番号	国名	国別番号	国名
00～09	アメリカ、カナダ	64	フィンランド
30～37	フランス	690～692	中国
380	ブルガリア	70	ノルウェー
383	スロベニア	729	イスラエル
385	クロアチア	73	スウェーデン
387	ボスニア・ヘルツェゴビナ	740	グアテマラ
400～440	ドイツ連邦共和国	741	エルサルバドル
460～469	ロシア連邦共和国	742～744	ホンジュラス、コスタリカ
471	台湾	743	ニカラグア
474	エストニア	未定	ウズベキスタン
475	ラトビア	745	パナマ
477	リトアニア	746	ドミニカ共和国
479	スリランカ	750	メキシコ
480	フィリピン	759	ベネズエラ
481	ベラルーシ	76	スイス
482	ウクライナ	770	コロンビア
484	モルドバ	773	ウルグアイ
485	アルメニア	775	ペルー
486	グルジア共和国	777	ボリビア
487	カザフスタン	779	アルゼンチン
489	香港	780	チリ
49&45	日本	784	パラグアイ
50	英国	786	エクアドル
520	ギリシャ	789	ブラジル
528	レバノン	80～83	イタリア
529	キプロス	84	スペイン
531	マケドニア	850	キューバ
535	マルタ	858	スロバキア
539	アイルランド	859	チェコ
54	ベルギー・ルクセンブルク	860	ユーゴスラビア
560	ポルトガル	869	トルコ
569	アイスランド	87	オランダ
57	デンマーク	880	韓国
590	ポーランド	885	タイ
594	ルーマニア	888	シンガポール
599	ハンガリー	890	インド
600&601	南アフリカ共和国	898	ベトナム
609	モーリシャス	899	インドネシア共和国
611	モロッコ	90～91	オーストリア
613	アルジェリア	93	オーストラリア
619	チュニジア	94	ニュージーランド
622	エジプト	955	マレーシア
625	ヨルダン	959	パプアニューギニア
626	イラン		

漂着ごみ調べの例



国名	漂着ごみの数	国名	漂着ごみの数
中国と香港	343	ドイツ	2
台湾	258	イギリス	2
韓国	229	インド	2
フィリピン	52	コロンビア	1
シンガポール	20	フランス	1
マレーシア	15	タイ	1
アメリカ	15	オーストラリア	1
インドネシア	8	ベルギー	1
ベトナム	8	日本	152
イタリア	4	国不明	2017

ちゅら島環境美化条例を知っていますか？

ちゅら島美化条例は16条からなり、目的、定義、県の責務、県民等の責務、事業者の責務、土地の占有者等の責務、投棄の禁止、基本方針、環境美化促進モデル地区、環境教育及び学習の推進、自発的な活動の推進、罰則等からなっています。

沖縄県は国内随一の亜熱帯特有の景観や世界に誇れる美しい海を始め、豊かな自然環境に恵まれています。このような景観や、自然環境は、私たちの誇りであると同時に、次の世代へ引き継ぐべき貴重な財産でもあります。

しかし、一步外へ出て私たちの周りを見渡すと、道路、公園、観光地などあらゆるところで、空き缶、煙草の吸い殻などのゴミが投げ捨てられ、街の美観を損ねていることも珍しくありません。

このような状況から、空き缶、煙草の吸い殻など屋外で散乱しやすいゴミの発生をおさえるための基本的なルールを定めると共に、県民、事業者、市町村及び県が一丸となって環境美化に取り組む取り組みを築き定着させていくため、県の施策を明らかにした「ちゅら島環境美化条例」が制定されました。

この条例で、当面重点目標としているのは、空き缶、たばこの吸い殻、ガムのポイ捨てをなくすことです。

- 一、捨てない、捨てさせない、守礼の心でちゅら島の実現、
 - 一、屋外のゴミ捨ては、原則持ち帰りの徹底を。
 - 一、出来るところから、環境美化の取り組み、
- を呼びかけています。

沖縄県 ～世界に誇れる「ちゅら島」をめざして～

ちゅら島環境美化条例

みんなの心がけて、まちも心もちゅらさん！

私たちにだってできることがあるんだ。

沖縄の豊かな自然環境を、私たちは次の世代へ引き継いでいかなければなりません。しかし、私たちの身の回りでは、あちこちでゴミが投げ捨てられ、道路、公園、川などを汚しています。そこで県では、「ちゅら島環境美化条例」に基づいて、すべての県民の取り組みで沖縄を美しくしていこうとしています。最も大切なことは、私たち一人一人のちよつと心がけてです。さあ、できることから、はじめましょう。

◆ 守礼の心で「ちゅら島おきなわ」を実現しましょう！ ◆

1. タルマからのポイ捨て、たばこのポイ捨て、ガムのポイ捨てをしない、させない！
2. 屋外で出たごみは、原則持ち帰りの徹底を！
3. できるところから、環境美化の取り組みを！

●お問い合わせ先●
沖縄県文化環境部 環境整備課
電話 0981-948-2222 FAX 0981-948-2400
URL www.pref.okinawa.gov.jp/kyosei/kyosei.htm

100

(沖縄県文化環境部環境整備課, 2002)